

要官報掲載
要公報掲載

貯業第一二二八號

昭和六年三月三十一日立案
同 年四月 六日發送

局長 課長 業

業 法

伺

省令施行期日：閏スル件

郵便為替規則、郵便貯金規則、茲郵便振替貯金規則中改正
ニ関スル件別紙、通決漸裁相成候ニ付テ、右省令茲公
達ハ五月一日ヨリ施行、コトニ致度仰高裁

通牒案

貯金局

局名 (貯金局各課宛)
業務課

拓務省
各通信局
朝鮮總督府通信局
台灣總督府交通局
関東廳通信局
樺太廳内務部
南洋廳通信課

宛各通

各貯金支局
貯金局第一貯金課
全 第二貯金課
全 振替貯金課
全 為替課

全 証 券 課

各種証據書有効期間ニ関スル件

1、樺太庁内
務部宛ニ限ル
2、札幌逓信
局及小樽貯金
文局ニ限ル
3、東京逓信
局南洋庁逓
信課貯金局
第一及第二貯
金課宛ニ限ル

今般千島國、琉球國、小笠原島、伊豆諸島、臺灣、樺太及朝鮮鬱
陵島ニ設置シタル郵便局所ト取沮シ又ハ之ヲ拂渡局所
トスル郵便為替証書、貯金拂戻証書及振替貯金拂出証書
ノ有効期間ヲ一般ノモノト同様六十日ト統一シ且樺太
ニ對スル不算入期間ヲ削除シ五月一日ヨリ實施スルコ
ト、相成候条了知相成度、高客年七月二十四日付連監
第一八九二號ヲ以テ奉照ノ原簿移替ノ件モ相當改正ノ
上同時ニ實施候条件了知相成度

貯 金 局

ルコトニ改正ノ上同時ニ實施候条件了知相成度
尚從來東京逓信局管内ト南洋群島相互間ニ於テ轉居シ
タル預ケ人ハ原簿移替ノ請求ヲ為シ得サリシ所今回之
カ移替ヲ為シ得ルコトニ改正ノ上同時ニ實施候条件了
了知相成度

貯業第八五七號

昭和六年三月六日立案

同年三月三十日奉送

大臣

次官

局長

課長

経

服

業

監

業

法

省令審査委員

郵便為替規則、郵便貯金規則並

郵便振替貯金規則等改正ノ件

(第一案)

逓信省令第一一號

郵便為替規則中左ノ通改正ス

貯金局

年月日

逓信大臣

第十條 南洋群島ニ設置シタル郵便局所ト取組ミタル

郵便為替証書ノ有効期間ハ其ノ発行ノ日ヨリ百二十

日トス

千島國ニ設置シタル郵便局所ト取組ミタル通常為替

証書及電信為替証書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ

翌年四月三十日ニテハ其ノ有効期間ハ算入セス

附則

本令ハ昭和六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前発行シタル郵便為替証書ハ仍從前ノ例ニ依

第四號 一九九號

参照

明治三十三年九月 遞信省令第四十五號郵便
為替規則抄録

第十條 千島國、琉球國、小笠原島、伊豆諸島、臺灣、樺太及朝鮮、鬱陵島ニ設置シタル郵便局所ト取組ミタル郵便為替証書、有有效期間ハ九十日トス。但シ同一國內又ハ同一島内ニ取組ミタルモノハ此ノ限ニ在ラス。

内地、千島國、琉球國、小笠原及伊豆諸島ニ設置シタル郵便局所ト南洋群島ニ設置シタル郵便局所トノ間ニ取組ミタル郵便為替、有有效期間ハ百二十日トス。

千島國及樺太ニ設置シタル郵便局所ト取組ミタル通帝為替証書及電信為替証書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌年四月三十日マテハ其ノ有有效期間ニ算入セ

貯金局

ス

(第二案)

逓信省令第一二號

郵便貯金規則中左ノ通改正ス

年 月 日 逓 信 大 臣

第十六條第一項中「他ノ貯金原簿所管廳ノ受持区域内」
ノ下ニ「又ハ同一原簿所管廳ノ受持区域内ニシテ貯金
利子ノ割合ヲ異ニスル地」ヲ加ヘ、第二項中「預ケ人原
簿」ノ下「當該貯金原簿所管廳」ニ「削」

第五十八條 貯金拂戻証書ノ有効期間ハ其ノ発行ノ日
ヨリ六十日トス但シ南洋群島ニ設置シタル郵便局所
ヲ拂戻局所トスルモノノ有効期間ハ百二十日トス
千島國ニ設置シタル郵便局所ヲ拂戻局所トスル貯金

貯 金 局

拂戻証書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌年四月卅日
迄ハ其ノ有効期間ニ算入セス

附 則

本令ハ昭和六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前発行シタル郵便貯金拂戻証書ハ仍從前ノ例
ニ依

参照

明治三十八年^{五月十八日}逓信省令第三十六号郵便貯金規則抄録

第十六條 貯金預ケ人其ノ住所ヲ他ノ貯金原簿所管廳ノ受持區域内ニ移轉シタルトキハ當該原簿所管廳ニ預ケ人原簿ノ移替ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ貯金通帳ヲ又証券保管通帳ヲ所持スルモノナルトキハ該通帳ヲモ共ニ之ヲ郵便局所ニ差出シ其ノ受領証ヲ受取ルヘシ

貯金原簿所管廳ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ預ケ人原簿ヲ當該貯金原簿所管廳ニ移替シ且通帳記號番號ヲ更訂シタル上通帳ハ郵便局所ニ於テ通帳受領証ト引換ニ又ハ書留郵便ニ依リ之ヲ請求人ニ返付ス

貯金局

第五十八條 貯金拂戻証書ノ有効期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ六十日トス

千島國、琉球國、小笠原島、伊豆諸島、臺灣、樺太及朝鮮鬱陵島ニ設置シタル郵便局所ヲ拂渡局所トスル貯金拂戻証書ノ有効期間ハ九十日トス
千島國及樺太ニ設置シタル郵便局所ヲ拂渡局所トスル貯金拂戻証書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌年四月三十日迄ハ其ノ有効期間ニ算入セス
南洋群島ニ設置シタル郵便局所ヲ拂渡局所トスル貯金拂戻証書ノ有効期間ハ百二十日トス

要官報掲載
要公報掲載

(第三案)

逓信省令第一三號

郵便振替貯金規則中左ノ通改正ス

年 月 日

逓 信 大 臣

第二十九條 郵便振替貯金提出證書ノ有效期間ハ其ノ
発行ノ日ヨリ六十日トス但シ南洋群島ニ設置シタル
郵便局ヲ併渡局トスルモノノ有效期間ハ百二十日ト
ス

千島國ニ設置シタル郵便局ヲ併渡局トスル郵便振替
貯金提出證書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌年四
月三十日迄ハ其ノ有效期間ニ算入セス

附 則

貯 金 局

本令ハ昭和六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前発行シタル郵便振替貯金提出證書ハ仍従前
ノ例ニ依ル

参照

明治四十一年^{三月十一日}逓信省令第四十七號郵便
振替貯金規則抄録

第二十九條 郵便振替貯金拂出証書、有效期間、其ノ
発行ノ日ヨリ六十日トス

千島國、琉球國、小笠原島、伊豆諸島、臺灣、樺太及朝鮮、鬱陵
島ニ設置シタル郵便局ヲ拂渡局トスル郵便振替貯金
拂出証書、有效期間、九十日トス

千島國及樺太ニ設置シタル郵便局ヲ拂渡局トスル郵
便振替貯金拂出証書ニ對シテハ、毎年十二月一日ヨリ
翌年四月三十日迄ハ、其ノ有效期間ニ算入セス

南洋群島ニ設置シタル郵便局ヲ拂渡局トスル郵便振
替貯金拂出証書、有效期間、百二十日トス

貯金局

(第四案)

公達第三七三號

貯金局

逓信局

通信官署

郵便貯金取扱規程中九ノ通改正ス

本公達ハ昭和六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

年月日

逓信大臣

第百九十三條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第二項中「前項」ヲ「前二項」ニ改ム

同一原簿所管廉ノ受持区域内ニ於テ轉居シシレ預ケ人ヨリ原簿移シ替ノ請求アリシレ場合ハ利子割合ヲ

貯金局

異ニスレ地ニ轉居シタレモノナルコトヲ確ムルノ外前項ノ例ニ準シ處理スヘシ

改正理由

一、証書ノ有効期間改正

現行郵便為替証書貯金拂戻証書及振替貯金拂出証書、有効期間ハ原則トシテ奉行ノ日ヨリ六十日トシテ交通不便ナル地ニシテ特ニ必要アリト認めルモノハ送日数等ヲ考慮シテ夫々比レテ延長シ居レリ、然ルニ近時交通機関ノ発達ニ伴ヒ従来交通不便ノ地トシテ特殊ノ期間ヲ設ケタルモノモ漸次其ノ必要ナキニ至リタルヲ以テ可成之等ヲ統一スルハ事務簡捷上利スル所不尠ニ付本案通改正セントス

二、貯金原簿移替ノ改正

現行規定ニ於テハ貯金預ケ人住所ヲ他ノ原簿所管廳、受持区域内ニ移轉シタル場合ノ外貯金原簿移替ノ

貯金局

請求ヲ認メサレ結果北海道ヨリ樺太ニ又東京所管府縣ヨリ南洋群島ニ轉居シタル預ケ人ハ原簿移替ノ請求ヲ為スコトヲ得ス而レテ樺太及南洋群島ヲ表示スル貯金記簿ヲ附シタル原簿ニ登録セラレタル貯金利率ハ高率ナルヲ以テ之等ノ預ケ人ハ右特別利子ヲ享受スル為メ一旦全拂ノ上更ニ新規預入ヲ為ササルヘカラス斯クテハ他管内ヨリ樺太又ハ南洋群島ニ轉居シタル預ケ人ニ比シ不公平ナルノミナラス取扱上不熟手数ヲ要スルヲ以テ本案通改正セントス

郵便為替規則新對照

第十條 千島國、琉球國、小笠原島、伊豆諸島、臺灣、樺太及朝鮮鬱陵島ニ設置シタル郵便局所ト取組ミタル郵便為替証書、有效期間ハ九十日トス但シ同一國內又ハ同一島内ニ取組ミタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

内地、千島國、琉球國、小笠原及伊豆諸島ニ設置シタル郵便局所ト南洋群島ニ設置シタル郵便局所トノ間ニ取組ミタル郵便為替証書、有效期間ハ其ノ発行ノ日ヨリ百二十日トス

千島國及樺太ニ設置シタル郵便局所ト取組ミタル通幣為替証書及電信為替証書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌年四月三十日マテハ其ノ有効期間ニ算入セ

貯金局

其四第 一三九 第 四

郵便貯金規則新對照

第十六條 貯金預ケ人其ノ住所ヲ他ノ貯金原簿所管廳
ノ受持區域内又ハ同一原簿所管廳ノ受持區域内ニシ
テ貯金利子ノ割合ヲ異ニスル地ニ移轉シタルトキハ
當該原簿所管廳ニ預ケ人原簿ヲ移替ヲ請求スルコト
ヲ得此ノ場合ニ於テハ貯金通帳ヲ又証券保管通帳ヲ
所持スルモノナルトキハ該通帳ヲモ共ニ之ヲ郵便局
所ニ差出シ其ノ受領証ヲ受取ルヘシ
貯金原簿所管廳ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ
預ケ人原簿ヲ當該原簿所管廳ニ移替シ且通帳記簿番
號ヲ更訂シタル上通帳ハ郵便局所ニ於テ通帳受領証
ト引換ニ又ハ書留郵便ニ依リ之ヲ請求人ニ返付ス
第五十八條 貯金拂戻証書ノ有效期間ハ其ノ発行ノ日

貯金局

ヨリ六十日トス但シ南洋群島ニ設置シタル郵便局所
ヲ拂渡局トスルモノノ有效期間ハ百二十日トス
十島國、琉球國、小笠原島、伊豆諸島、臺灣、樺太及朝鮮鬱陵
島ニ設置シタル郵便局所ヲ拂渡局トスル貯金拂戻証
書ノ有效期間ハ九十日トス
千島國及樺太ニ設置シタル郵便局所ヲ拂渡局所トス
ル貯金拂戻証書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌年
四月三十日迄ハ其ノ有效期間ニ算入セス
南洋群島ニ設置シタル郵便局所ヲ拂渡局所トスル貯
金拂戻証書ノ有效期間ハ百二十日トス

郵便振替貯金規則新對照

第二十九條 郵便振替貯金拂出証書、有效期間ハ其ノ
発行、日ヨリ六十日トス但シ南洋群島ニ設置シタル
郵便局ヲ拂渡局トスル郵便振替貯金拂出証書、有效
期間、百二十日トス

千島國、琉球國、小笠原島、伊豆諸島、臺灣、樺太及朝鮮、露
島ニ設置シタル郵便局ヲ拂渡局トスル郵便振替貯金
拂出証書、有效期間、九十日トス

千島^國及樺太ニ設置シタル郵便局ヲ拂渡局トスル郵便
振替貯金拂出証書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌
年四月三十日迄ハ其ノ有效期間ニ算入セス

南洋群島ニ設置シタル郵便局ヲ拂渡局トスル郵便振
替貯金拂出証書、有效期間、百二十日トス

貯金局

郵便貯金取扱規程新對照

第百九十三條 郵便局所ニ於テ一、原簿所管廳受持區
内ヨリ他、原簿所管廳受持区内ニ轉居シタル預ケ人
ヨリ原簿移レ替ヘ、請求アリタルトキハ貯金通帳ヲ
又証券保管通帳ヲ所持スルモノナルトキハ該通帳ヲ
モ共ニ之ヲ差出サシメタル上預ケ人現住所カ通帳發
行局所受持原簿所管廳ノ所屬區域外ナルコトヲ確メ
第百七十條ニ依リ通帳受授ノ手續ヲ為シ通帳(保管通帳)
アルトキハ共ニハ之ヲ原受持ノ原簿所管廳ニ廻送スヘシ
同一原簿所管廳ノ受持区域内ニ轉居シタル預ケ人ヨ
リ原簿移レ替、請求アリタル場合ハ利子割合ヲ異ニ
スレ地ニ轉居シタルモノナルコトヲ確ムルノ外前項
ノ例ニ準レ處理スヘシ

貯金局

前項ノ場合ニ於テ其ノ預ケ人カ轉居届出未済ノモ
ノナルトキハ其ノ届書ヲ差出サシメ通帳ト共ニ之ヲ
原簿所管廳ニ廻送スヘシ

關係規程草案

郵便貯金利息割合ノ件

(明治三十八五一七勅令第百六十六号)

郵便貯金ニ付スヘキ利息ノ割合ハ年四分ニ厘トス但

シ朝鮮總督府、台灣總督府及関東廳所管原簿並樺太又

ハ南洋群島ヲ表示スル記事ヲ付シタル原簿ニ登記シ

タル郵便貯金ニ付スヘキ利息ノ割合ハ年四分四厘四

毛トス

(以下省略)

貯金規則

第十六條

貯金預ケ人其ノ住所ヲ他ノ貯金原簿所管廳

ノ受持已域内ニ移轉シタルトキハ當該原簿所管廳ニ

預ケ人原簿ノ移替ヲ請求スレコトヲ得此ノ場合ニ於

貯金局

テハ貯金通帳ヲ又証券保管通帳ヲ所持スルモノナル

トキハ該通帳ヲモ共ニ之ヲ郵便局所ニ差出レ其ノ受

領証ヲ受取ルヘシ

貯金原簿所管廳ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ

預ケ人原簿ヲ當該貯金原簿所管ニ移替シ且通帳記號

番號ヲ更訂シタル上通帳ハ郵便局所ニ於テ通帳受領

証ト引換ニ又ハ書留郵便ニ依リ之ヲ請求人ニ返付ス

第二十四條之二 貯金預ケ人ノ請求ニ依リ預ケ人原簿ノ

移替ヲ為シタル場合ニ於テ新旧所管廳ニ於テ利息ノ

割合ヲ異ニスルトキハ移替當月以降ハ新所管廳ニ於

ケル利息ノ割合ニ依ル

前項ノ規定ハ同一所管廳内ニ於テ利息ノ割合ヲ異ニ

スル原簿相互間ニ移替ヲ為シタル場合ニ之ヲ準用ス

郵便為替法

第十條 郵便為替証書、有效期間、其、発行ノ日ヨリ
六十日トス

前項ノ期間ハ交通不便ノ地方ニ付テハ命令ノ定ムル
所ニ依リ之ヲ延長スルコトヲ得

郵便貯金法

第十條 郵便貯金拂出ニ関スル証書、有效期間ハ命令
ヲ以テ之ヲ定ム

貯金局